



かけはし

実効性のある避難訓練を積み重ねる

校長 嶋崎 恭代

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。1日も早い復旧と、被災地域の復興を心より願っています。

先日、ネットニュースで珠洲市三崎町の記事を目にしました。「地震と津波で壊滅的な被害を受けた三崎町では、住民の大半は高齢者であったが、5分以内に高台に避難して全員無事だった。」というものです。「地区では東日本大震災をきっかけに毎年避難訓練を行っており、住民は“奇跡じゃなくて、訓練が生きた”と振り返っています。この記事から、改めて避難訓練の大切さを感じました。「また地震が来るのでは？」と不安に思う子供への対応として、3学期始業日から地震が起きたらまず机の下に入って頭を守ることなどを各学級で確認し、2月は火災による避難訓練の予定でしたが垂直避難の仕方を再度確認することにしました。今の時期は怖がらないよう“優しい避難訓練”に心掛け、工夫をしながら実効性のある訓練にしていきたいと思っています。また、地域と連携した訓練の必要性も感じているところです。

26日には、授業参観・学年懇談会を実施することができました。寒い中、多くのご参加をいただきありがとうございました。いつも以上に張り切って学習に向かう子供たちの様子が見られました。

今後も余震が心配されますが、子供たちの安全に配慮しながら教育活動を進めてまいります。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

子供の心のケアについて

地震から4週間が過ぎました。家でのお子さんの様子はどうでしょうか。学校では、不安な気持ちを誰かに話すことで楽になることもあることから、教職員は子供たちの話をよく聞くことを心掛けています。ご家庭でも、いろいろな配慮をされていることと思いますが、先日、本校のスクールカウンセラーである金木崇宏先生の「カウンセラーだよりNo.3」には、保護者の皆様に対し、以下の3点について呼びかけがありました。再度ご確認をお願いします。

- ①お子さんが体験した恐れや不安の内容を理解すること
- ②不安を訴えた際、お子さんの話に耳を傾けること
- ③急に甘えてきた時は温かく対応すること 等

お子さんのことで心配なことや気になることなどがありましたら、担任までお知らせください。学校、家庭が連携し、情報を共有することで、子供たちの心を守ることができます。よろしくをお願いします。



◆◆◆◆転出予定があるときは、ご連絡を◆◆◆◆

近々、他の小学校へ「転校するかもしれない。」「転校することが決まった」といった場合は、すぐに担任にお知らせください。本校や転出予定校のクラス編成等の準備があります。また、何よりお別れをする子供同士、クラスメイトとしての最後の言葉の掛け合いを行いたいからです。お別れをする子供、見送るクラスの双方にとって思い出深い日となります。お知らせいただいたあとに、結局、転出しなくなったということになっても結構です。予定があれば、担任に必ずお伝えください。

楽しかった「なかよし弁当」「なかよし遊び」

1月12日(金)に開かれた異学年活動。6年生がリーダーとなって会を進める最後の活動となりました。どのグループも生き生きキラキラした瞳を輝かせ活動していました。

6年生のみなさん、おつかれさまでした。あなたが築いてくれた井上小学校の良い伝統はきっと、引き継がれていくことでしょう。とても素敵な6年生の兄さん、お姉さんでしたね。

